# 令和７年度事業報告

社会福祉法人

山口県社会福祉事業団

# 目　　次

頁


## Ⅰ　第四次中期経営計画の実現に向けて

◎　利用者の立場に立った**「選ばれる施設づくり」** …… 1

◎　地域から信頼される**「地域とともに歩む施設づくり」** …… 2

◎　自立的経営を目指す**「経営の基盤づくり」** …… 2

## Ⅱ　各施設拠点の取組

選ばれる施設づくり

１　サービスの質の向上 …… 3
（１）医療的ケアの提供体制の確保・充実 …… 3
（２）利用者の意思決定の尊重 …… 3
（３）高い専門性を確保したサービスの提供 …… 3
（４）虐待の防止 …… 4
（５）感染症予防の徹底 …… 4
（６）事故の未然防止 …… 4

２　運営に係る透明性の確保 …… 4
（１）情報の公表 …… 4
（２）施設サービスへの理解促進 …… 4

３　各施設拠点における重点的取組 …… 5

［灘海園］ …… 5

［伊保庄園］ …… 5

［オアシスはぎ園］ …… 6

［たちばな園］ …… 6

［華南園］ …… 7

［華の浦（はなのうらを含む）］ …… 7

［このみ園］ …… 8

［山口県みほり学園］ …… 8

［山口県児童センター］ …… 9

［ゆ～あいプラザ山口県社会福祉会館］ …… 9

地域とともに歩む施設づくり

１　地域社会への貢献 …… １０
（１）公益的な取組の実施 …… １０
（２）セーフティネット機能の発揮 …… １１
（３）福祉人財の活用 …… １１

２　交流機会の確保 …… １１

## Ⅲ　法人・事務局の取組

経営の基盤づくり

１　法人組織のガバナンス強化 …… １２

２　人財の確保・育成・定着 …… １２
（１）人財の確保 …… １２
　ア　多様な人財の確保
　イ　実習生やインターンシップの積極的な受入れ
（２）人財の育成 …… １２
　ア　資格取得の促進
　イ　体系的かつ専門的な研修機会の確保
（３）人財の定着 …… １３
　ア　ハラスメントの防止及びメンタルヘルス対策の強化
　イ　ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入
　ウ　新人職員へのサポート体制の充実
　エ　「小集団活動」の推進による職場環境の改善

３　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保 …… １４
（１）施設設備の整備 …… １４
（２）収益の確保 …… １４
（３）利用者の確保 …… １４
（４）施設機能の維持 …… １４

◆　各施設拠点における事業ごとの稼働率等の目標 …… １５

## Ⅰ　第四次中期経営計画の実現に向けて

令和７年度は国等により介護職場の人材確保に向けた賃金改善、報酬改定の前倒し、各種補助金による財政支援などが実施されましたが、中東情勢の悪化による原油不足に伴う物価高騰や物資の供給不安など新たな問題が発生しています。

このような中、当事業団では、「第四次中期経営計画」（2024～2028）の最終目標の達成に向け、**“その人らしさを大切に～みんなの笑顔のために～”**の基本理念のもと、**「選ばれる施設づくり」「地域とともに歩む施設づくり」「経営の基盤づくり」**の基本目標に沿って、令和７年度事業計画の着実な推進を目指して全職員で取り組みました。

各施設における稼働率の目標数値に対する達成状況については、令和６年度並みとなったものの、介護施設にあっては、職員の増員や地域ニーズの的確な把握など入所者確保に向けた様々な取組の結果、灘海園及びオアシスはぎ園において大きく改善が見られ、目標に近い稼働率を確保することができました。障害施設にあっても、感染症の影響を受けた華南園以外はほぼ令和６年度同様順調に推移しました。また、各種加算の積極的な取得などにより、法人全体の事業活動収入は大きく改善することができました。

今後も、現状を維持しつつ努力を重ね、さらなる安定的な経営に努めてまいります。

施設整備では、建替えを計画している伊保庄園について、７月に「改築等検討委員会」を発足、検討を進め現場の意見も取り入れながら基本計画に着手しました。

また、児童センターについては県による建替えの方針が示され、指定管理施設であるみほり学園については、基本設計が終了し、令和１１年度中の供用開始に向け順調に作業が進められています。

### ◎　利用者の立場に立った「選ばれる施設づくり」

選ばれる施設づくりに向けて、基本理念を念頭に置き、利用者のニーズに沿った安心・安全な福祉サービスを提供するとともに、透明性の高い法人運営を進めました。

○　サービスの質の向上

認定特定行為業務従事者研修受講者は昨年度を上回り、昨年度受講できなかった認知症に係る研修では、介護実践者研修について、全介護施設で受講しました。また、関係する施設すべてで虐待防止に向けたセルフチェックを実施し、虐待行為及び不適切な支援の防止に努めました。

○　運営に係る透明性の確保

大幅に更新回数を増やしたホームページやインスタグラム、紙媒体などを活用しながら施設の様子や取組状況について積極的に情報の公表に努めました。

また、交流機会の積極的な提供については、新型コロナウイルスの影響もほぼ

なくなり、面会や交流機会の確保に努めました。

○　各施設拠点における重点的取組

各施設拠点とも積極的に取り組み、ほぼすべての施設拠点で目標を達成することができ、多くの成果を得ることができました。

## ◎　地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」

地域共生社会の実現に資するため、高い公益性をもって、積極的に地域への貢献活動に取り組みました。

○　地域社会への貢献

「地域における公益的な取組」については全ての施設拠点で実施し、職員や施設設備など施設の持つ資源を積極的に活用しながら、高齢者の見守りや学生や地域住民、保護者等を対象とした講習会・介護教室、相談事業を実施し、地域社会への貢献に努めました。

○　交流機会の確保

障害や児童関連施設を中心に昨年度を上回る多くのボランティアの受入れ、祭りや清掃活動など地域活動への参加による交流機会の確保に努めました。

## ◎　自立的経営を目指す「経営の基盤づくり」

法人組織のガバナンスの強化を進めるとともに、施設設備の充実及び人財の確保・育成・定着を着実に進めるための財源を確保し、安定的で持続的的発展を可能にするバランスの取れた経営基盤の確立に努めました。

○　法人組織のガバナンス強化

定期的に経営会議を開催し、課題の抽出と解決に向け、危機意識の共有、醸成に努めながら具体的な検討を行いました。また、コンプライアンス研修について、本部研修及びすべての施設拠点で研修を実施し、職員の法令順守の意識の醸成に努めました。

○　人財の確保・育成・定着

人財確保に向け、関係機関への積極的な働きかけ、様々な媒体や各種制度の活用、職員の随時募集などにより 22 人の新規職員を採用することができました。また、育成に向けた研修の積極的な実施や受講を進め、ハラスメント撲滅のための調査を実施するとともに調査結果を踏まえた研修の実施や新人職員に対する訪問面談などのフォロー体制の徹底により、人財の定着に努めました。

○　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保

介護施設における大幅な収益の改善などにより、施設整備等積立金については昨年度を上回る積立を行うことができました。

また、助成金を活用し、老朽化したオアシスはぎ園の車両を更新しました。

## Ⅱ　各施設拠点の取組

### 選ばれる施設づくり

#### 1　サービスの質の向上

（1） 医療的ケアの提供体制の確保・充実

利用者の状態に応じた医療的ケアの提供体制の確保・充実

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 認定特定行為業務従事者研修修了者の増 |
| 取組の実績 | 7人受講（計画：6人以上）した。（灘海園1人、伊保庄園1人、オアシスはぎ園1人、華の浦4人） |

（2） 利用者の意思決定の尊重

利用者の意思を尊重したサービスの提供

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 意思決定支援会議の開催 |
| 取組の実績 | 利用者本人の出席に努め計画的に開催した。 |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 意思決定支援ガイドラインに沿った対応 |
| 取組の実績 | 研修内研修の開催などを通じ職員の理解促進を図るとともに、関係者の協力の下、最善の対応に努めた。 |

（3） 高い専門性を確保したサービスの提供

支援体制の強化に向けた研修機会の確保

【高齢者】

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 認知症介護実践者研修の受講 |
| 取組の実績 | 3人受講（計画：3人）した。（灘海園1人、伊保庄園1人、オアシスはぎ園1人） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 認知症介護実践リーダー研修の受講 |
| 取組の実績 | 受講なし（計画：3人） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 認知症介護指導者養成研修の受講 |
| 取組の実績 | 受講なし（1人／5年（中期経営計画期間中）） |

【障害児・者】

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 強度行動障害支援者養成研修（基礎）の受講 |
| 取組の実績 | 6人受講（計画：6人）した。（たちばな園1人、華南園1人、華の浦2人、このみ園2人） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 強度行動障害支援者養成研修（実践）の受講 |
| 取組の実績 | 6人受講（計画：6人）した。（たちばな園1人、華南園2人、華の浦2人、このみ園1人） |

（4） 虐待の防止

虐待行為及び不適切な支援の防止

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 職員への虐待防止セルフチェックを実施 |
| 取組の実績 | 関係施設拠点のすべてで１回以上実施した。 |

（5） 感染症予防の徹底

日常的な感染症の予防対策の徹底及び有事に対応できる体制等の整備

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | スタンダードプリコーションの徹底 |
| 取組の実績 | 看護師による研修や訓練などを通じ、各施設拠点で工夫をしながら取り組んだ。 |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | ＢＣＰ及び対応マニュアルに基づく体制等の整備 |
| 取組の実績 | 必要に応じマニュアルを見直すとともに感染症対策委員会の開催や、研修会や訓練など各施設拠点で取り組んだ。 |

（6） 事故の未然防止

日常的なヒヤリハット及び事故報告事例の要因分析に基づく対応

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | リスクマネジメント委員会の実施 |
| 取組の実績 | 毎月あるいは定期的、随時に実施した。 |

## ２　運営に係る透明性の確保

（1） 情報の公表

運営や施設サービスに関する情報及び評価結果等の積極的な公表

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | ホームページ等を活用した積極的な情報の発信 |
| 取組の実績 | 昨年度に比較し、大幅な更新回数となり、施設の様子や情報を積極的に発信した。 |

（2） 施設サービスへの理解促進

交流機会の積極的な提供

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 感染症等のリスクを考慮した面会の実施 |
| 取組の実績 | 感染状況に注意しながら、少しずつ緩和に努め可能な範囲で面会の機会を設けた。 |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 家族会等による交流機会の確保 |
| 取組の実績 | 一部感染症の影響を受けつつも、多くの施設で交流機会の確保に努めた。 |

## ３　各施設拠点における重点的取組

### ＜高齢者施設＞

［灘海園］

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 20 人）
・地域密着型通所介護（定員 18 人）
・居宅介護支援

| | | |
|---|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | | 医療的ケアを必要とする利用者の受入体制を整備・充実し、質の高いサービスを提供します。 |
| 取 組 事 項 ① | | 医療的ケア体制の確保 |
| | 目 標 項 目 | 認定特定行為業務従事者研修の計画受講 |
| | 取組の実績 | 介護員の不足により１人のみの受講となった。（計画：２人） |
| 取 組 事 項 ② | | 園内体制の再構築（委員会・マニュアル等の整備） |
| | 目標項目 | 受入体制の整備 |
| | 取組の実績 | 嘱託医と調整を図り、看取り期にある入居者のみではあるが、看護師による喀痰吸引の取組を開始した。 |

［伊保庄園］

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 14 人）

| | | |
|---|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | | 医療的ケア体制を充実し、質の高いサービスを提供します。 |
| 取 組 事 項 ① | | 医療的ケア体制の確保・充実 |
| | 目 標 項 目 | 認定特定行為業務従事者研修の計画受講 |
| | 取組の実績 | 計画どおり１名受講した。 |
| 取 組 事 項 ② | | フォローアップ研修等の実施 |
| | 目 標 項 目 | 内部研修の充実 |
| | 取組の実績 | 計画どおり研修を年２回実施した。 |

[オアシスはぎ園]

・介護老人福祉施設（定員 100 人）
・短期入所生活介護（定員 16 人）
・通所介護（定員 30 人）
・グループホーム（定員 18 人）　・居宅介護支援、在宅介護支援

| | | |
|---|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | | 外出支援を通して、利用者・職員・家族・地域の人の笑顔を引き出します。 |
| 取組事項① | | 外出支援の充実<br>・家族参加も含めた個別のニーズに応じた外出支援<br>・グループのニーズに応じた外出支援（利用者・職員等） |
| | 目標項目 | 個別外出及びグループ外出支援の充実 |
| | 取組の実績 | 特養３１回・GH11 回と目標を大きく上回ることができた。（計画：17 回） |
| 取組事項② | | ホームページ及び広報紙を活用した活動内容の情報発信 |
| | 目標項目 | 活動情報の発信 |
| | 取組の実績 | ホームページ８回、広報誌3回となった。（計画：４回） |

＜障害者・児施設＞

[たちばな園]

・施設入所支援（定員 50 人）
・生活介護（定員 50 人）
・短期入所（空床型）　　・特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援

| | | |
|---|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | | 利用者の高齢化及び障害の多様化に対応できる専門性の高いサービス提供体制を充実します。 |
| 取組事項① | | 強度行動障害等のある利用者への適切な支援方法の獲得及び実践 |
| | 目標項目 | 強度行動障害支援者養成研修の計画受講<br>先進的施設見学及び実習 |
| | 取組の実績 | 強度行動障害者支援者養成研修（基礎研修）　１人受講<br>〃　（実践研修）　１人受講 |
| 取組事項② | | 利用者の重度高齢化等に応じたハード及びソフト面の充実 |
| | 目標項目 | 日中活動の見直し<br>介護機器等の導入・整備 |
| | 取組の実績 | PT 相談を４回／年実施し利用者の機能維持・向上に取組んだ。 |
| 取組事項③ | | 成年後見人制度活用の啓発 |
| | 目標項目 | 家族等への制度説明 |
| | 取組の実績 | 制度活用予定が中止となった。引き続き、要望があれば情報提供を行う。 |

[華南園]

・施設入所支援（定員 50 人）
・生活介護（定員 50 人）
・短期入所（定員 4 人）

| | |
|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | 利用者の日中活動を充実させるとともに、利用者の高齢化や多様な障害特性に対応できる専門性の高いサービスを充実します。 |
| 取組事項① | 自己決定による外出支援の充実 |
| 目標項目 | 外出支援の実施 |
| 取組の実績 | １人：年２回は外出できなかったが、２７回延べ５２人、外出した。 |
| 取組事項② | 利用者の機能低下や多様な障害特性に応じた専門的なケアによるサービス体制の確保・充実 |
| 目標項目 | 強度行動障害支援者養成研修の計画受講<br>認定特定行為業務従事者の一定数確保 |
| 取組の実績 | 強度行動障害支援者養成研修を３人受講した。<br>認定特定行為業務従事者研修受講なし（常時 8 人以上の確保済み） |

[華の浦（はなのうらを含む）]

＜華の浦＞
・施設入所支援（定員 34 人）
・生活介護（定員 34 人）
・短期入所（定員 4 人）
・特定相談支援、障害児相談支援

＜はなのうら＞
・福祉型障害児入所（定員 16 人）
・短期入所（空床型）
・放課後等デイサービス（定員 10 人）

| | |
|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | 利用者・児が主役になれるよう、毎日の暮らしを楽しいと感じる活動を提供するとともに、医療を必要とする利用者・児への専門性の高いサービスを提供します。 |
| 取組事項① | 利用者・児の意思や要望を重視したサービスの提供 |
| 目標項目 | 意思決定支援会議の開催　　にじの会の開催<br>夢プラン（個別外出）の実施 |
| 取組の実績 | ・意思決定支援会議を年２回、個別支援会議の中で開催した。可能な限り利用者も参加し、意見や要望を傾聴しニーズとして計画書に反映した。<br>・華会、にじの会を月１回開催し、利用児者の要望を聴き取り日中活動内容等に反映した。<br>・夢プラン・にじプラン（個別外出）を１人年２回以上実施した。 |
| 取組事項② | 医療的ケア体制の充実 |
| 目標項目 | 認定特定行為業務従事者の一定数確保 |
| 取組の実績 | 認定特定行為業務従事者研修を４人受講し、利用者に医療的ケア支援を実践した。（常時９人以上の確保） |

［このみ園］

・福祉型障害児入所（定員 40 人）
・短期入所（定員 5 人）
・放課後等デイサービス（定員 10 人）
・日中一時支援（定員 10 人）

| | |
|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | 県内唯一の単独福祉型障害児入所施設として、多様なニーズを積極的に受け入れ、定員 40 人満床の継続を目指すとともに、令和 6 年度より施行される移行調整の新たな枠組みについて、関係機関と積極的に連携をとり、利用児の適切な移行につながる支援体制を確立します。 |
| 取組事項① | 様々なニーズを持つ障害児の積極的受入れ |
| 目標項目 | 定員 40 人満床の継続 |
| 取組の実績 | 関係機関との調整を通じて、社会的養護を必要とする児童の受け入れを積極的に進めた。また、一時保護から措置入所への移行を適切に支援したことにより、定員 40 名の満床を継続した。 |
| 取組事項② | 円滑な移行調整に向けた支援体制の確立 |
| 目標項目 | 行政主導の新たな移行調整の枠組みへの積極的参加 |
| 取組の実績 | 県に対し「協議の場」及び「個別ケース会議」の開催を要請し、移行が困難と判断される児童について協議を行った。また、ソーシャルワーカーを配置し、円滑な移行支援を行う体制を整備した。 |

＜児童心理治療施設施設＞

［山口県みほり学園 ］※県指定管理

・施設入所（定員 50 人）

| | |
|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | 施設全体が「治療の場」となるよう、「総合環境療法」を実施し、児童の心のケアと社会適応能力の向上を図ることで、親子関係の再構築（家族再統合）を推進するとともに、施設機能を活かし地域のニーズにも対応します。 |
| 取組事項① | トラウマケアや発達障害等に係る知識や訓練技法を高めた専門的な支援による児童の社会適応能力の向上 |
| 目標項目 | ・定期的な専門研修への参加　・園内研修の充実<br>・訓練の評価と展開 |
| 取組の実績 | ・専門研修へ延べ 38 名の職員が 23 回参加した。<br>・園内研修ではトラウマケアやメンタルヘルス研修など行った。<br>・２名の児童を対象にコグトレを実施、評価を行った。 |
| 取組事項② | 退所後の生活に円滑に移行するための社会的自立に向けた支援 |
| 目標項目 | マニュアルの整備と計画実施 |
| 取組の実績 | マニュアルを整備後、計画に基づいて支援を実施した。 |
| 取組事項③ | 施設機能を活かした、地域ニーズへの対応 |
| 目標項目 | 外来相談の実施 |
| 取組の実績 | ５件の目標に対し 22 件の相談を実施した。 |

＜児童厚生施設＞

［山口県児童センター］

・プラネタリウム
・大、小ホール
・遊戯室、図書室　等

| | |
|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | こどもの居場所（サードプレイス）として、全てのこどもが集えるよう、児童センター機能を充実します。 |
| 取組事項① | 年齢層に応じたニーズ把握と行事の見直しによる利用促進 |
| 目標項目 | 年長児童の利用促進 |
| 取組の実績 | ＫＪ法で児童センターやプラネタリウムプログラムに対する要望を収集した。また、中・高生を中心にアンケート調査を実施した。 |
| 取組事項② | 地域と共に進める子育て支援 |
| 目標項目 | 関係機関との連携及びボランティアの育成 |
| 取組の実績 | 実施する行事において適宜募集したところ、延べ 460 人を超えるボランティアが参加した。 |
| 取組事項③ | 児童厚生員の専門性の向上 |
| 目標項目 | 児童厚生員一級及び二級指導員資格の取得 |
| 取組の実績 | 地方分散型児童厚生員等基礎研修を４人受講し、２名の職員が二級指導員資格を取得した。 |

＜その他＞

［ゆ～あいプラザ山口県社会福祉会館］

・福祉関係団体への事務室の提供
・会議室等の貸出

| | |
|---|---|
| 中期経営計画で目指すべき方向 | 会議室の利用ニーズに応じた利便性を高めることで、選ばれる施設づくりを目指します。 |
| 取組事項① | ホームページ及び会議室予約システムの再構築 |
| 目標項目 | 会議室利用回数の増 |
| 取組の実績 | 470 回（計画：550 回）<br>隣接する自治会館の建替工事に伴い来客用の駐車場が使用できなかったことが影響した。 |
| 取組事項② | 会議室のＷｅｂ環境の整備 |
| 目標項目 | Ｗｅｂ環境の整備 |
| 取組の実績 | すべての会議室で利用可能な Wi-Fi 設備を整備した。 |

## 地域とともに歩む施設づくり

### 1　地域社会への貢献

（1） 公益的な取組の実施

地域の福祉ニーズに応じた公益的な取組の実施

| 施設拠点 | 取組の実績 |
|---|---|
| 灘海園 | ・生活困窮者のための就労訓練事業について、岩国市社会福祉協議会との連携を密にすることにより、就労訓練の候補者が数名いたものの、実際の就労訓練には至らなかった。<br>・岩国市社会福祉法人地域公益活動推進協議会活動については、引き続き、市内のフードバンクに関する業務の協力をした。 |
| 伊保庄園 | ・キャラバンメイトとして、認知症サポーター養成講座に年８回参加するなど、高齢者に対する理解の普及啓発に取り組んだ。 |
| オアシスはぎ園 | ・看護学校からの依頼を受け、介護・福祉に関する出前講座を実施した。（３回：延べ 60 人）<br>・はぎ園の昼食に大井地区住民計１５人（3回）の参加があった。<br>・昨年度、レシピを配布しているため、今年度は献立提供の依頼はなかった。 |
| たちばな園 | 独居高齢者及び障害者への配食サービス（１回／月　１０世帯）及び広報誌配布に併せた安否確認（4回／年）を行った。 |
| 華南園 | ・近隣の高齢者や障害者への配食サービスを１回/月実施した。（計 109 食）<br>・民生委員・児童委員などを対象とした家庭介護講習会を３回開催した。（参加者：計 64 人） |
| 華の浦 | ・『防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会』に参加し、情報交換等を行った。<br>・民生委員（11 人）を対象とした介護教室を開催し、福祉に対する理解促進を図ることができた。 |
| このみ園 | 「発達支援セミナー」を3回実施した。（参加者：計 16 人） |
| 山口県<br>みほり学園 | ・退所児のアフターフォローを５７件行った。<br>・外来相談事業（県内在住の小中学生及びその保護者を対象に実施）５ケースを対象に面接や電話等延べ１８件対応した。 |
| 山口県<br>児童センター | 子育て中の者を対象とした保健師による育児相談事業（毎月第2.3.4 火曜日：計 207 件）並びに栄養士による食育相談事業（毎月第１火曜日：計 76 件）を実施した。 |

（2） セーフティネット機能の発揮

地域の緊急避難場所としての受け入れ体制の整備

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 関係機関との連携強化 |
| 取組の実績 | 各施設拠点とも随時連携に努め、障害施設における短期入者の受入れ等を行った。 |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 受入体制及びマニュアル等の整備 |
| 取組の実績 | 関係機関と連携し、受入体制の整備に向けた協議等を行ったものの、マニュアルの整備までは至っていない。 |

（3） 福祉人財の活用

職員が持つ技術や知識、経験等の地域への還元

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 福祉人財を活用した地域活動への参画 |
| 取組の実績 | 地域の講習会等へ講師としての派遣、イベントへの参加など職員の知識等の地域への還元に努めた。 |

## 2 交流機会の確保

地域への施設機能の積極的な開放等

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 地域への施設の開放 |
| 取組の実績 | 半数の施設で地域の要望に応じ、地域活動に対して施設（会議室等）や機器等の貸出を行った。 |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | ボランティア団体等の受入れ |
| 取組の実績 | コロナの影響もほぼなくなり、障害や児童関連施設を中心に昨年度を大きく上回る多くのボランティアを受け入れた。（延べ 1,408 人） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 地域活動への積極参加 |
| 取組の実績 | 地域の祭りや各種イベント、清掃活動など、全ての施設においていずれかの活動に参加し、交流を深めた。 |

## Ⅲ　法人・事務局の取組

### 経営の基盤づくり

#### 1　法人組織のガバナンス強化

規程等の整備や研修等の実施

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 経営会議の実施 |
| 取組の実績 | 部門別会議も含め９回実施した。（計画：６回） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | コンプライアンス研修の実施 |
| 取組の実績 | 本部２回（31 人）、各施設拠点延べ９回（163 人）実施した。 |

#### 2　人財の確保・育成・定着

（１）人財の確保

ア　多様な人財の確保

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 各種教育機関等との連携強化、ＳＮＳ等を活用したＰＲ活動の推進、高齢者・障害者等の雇用促進、職員紹介制度の活用 |
| 取組の実績 | 各種学校等との連携、ホームページやインスタグラム、職員紹介制度やジョブリターン制度の活用など積極的に展開した。 |

イ　実習生やインターンシップの積極的な受入れ

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 各教育機関との連携強化 |
| 取組の実績 | ほぼすべての施設拠点で積極的に実習生の受入れを行った。（延べ 380 人） |

（２）人財の育成

ア　資格取得の促進

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 事業実施に必要な有資格者の継続確保 |
| 取組の実績 | 各施設拠点の有資格者の実態把握に努めるとともに、計画的に各種研修の受講を推進した。 |

| | |
|---|---|
| 具体的行動 | 資格取得助成制度の活用 |
| 取組の実績 | 助成制度申請者３人（うち合格者１人） |

イ　体系的かつ専門的な研修機会の確保

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 階層別研修の実施 |
| 取組の実績 | 階層毎に各１回実施した。（計画：各１回） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 特別研修の実施 |
| 取組の実績 | 「不適切なケアの予防について」（10/24 実施） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | セミナー研修の実施 |
| 取組の実績 | 11 月 28 日、ZOOM 配信にて発表し、多くの職員が視聴した。（伊保庄園・華南園・みほり学園） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 出前研修の実施 |
| 取組の実績 | 虐待防止研修を４施設拠点で実施、コンプライアンス研修を２施設拠点で実施した。 |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 外部研修への積極的な参加 |
| 取組の実績 | 全施設において積極的に参加した。（延べ277 人） |

（３）人財の定着

ア　ハラスメントの防止及びメンタルヘルス対策の強化

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | ハラスメント研修の実施 |
| 取組の実績 | 本部１回（24 人）、各施設拠点延べ 11 回（169 人）実施した。 |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 全職員へのハラスメントに係る調査の実施と公表 |
| 取組の実績 | 計画どおり実施するとともに、調査結果の報告と併せ、ハラスメント防止のための研修を行った。また、実際に相談を受けた時の対応等について、各施設の相談窓口担当者を対象とした研修も実施した。（顧問社会保険労務士／オンライン） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 相談窓口の設置整備と相談事業の実施 |
| 取組の実績 | 内部相談窓口及び外部相談窓口を設置し、相談しやすい体制で取り組んだ。 |

イ　ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入等

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | ＩＣＴ機器や福祉機器等の導入による労務環境の改善 |
| 取組の実績 | 華南園において、利用者の移乗をより安全に行うことを目的として床走行式リフトを導入し、職員の身体的負担の軽減を図るとともに、介護の質の向上にもつなげた。 |

ウ　新人職員へのサポート体制の充実

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 訪問面談の実施 |
| 取組の実績 | 途中採用も含めた新人職員３２人に対し、延べ７０回実施した。（計画：１人３回以上） |

エ　「小集団活動」の推進による職場環境の改善

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 小集団活動の推進 |
| 取組の実績 | 具体的な取組には至らなかった。 |

## ３　安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保

（１）施設設備の整備

伊保庄園の移転改築の推進

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 改築等検討委員会及びワーキングチームの設置 |
| 取組の実績 | 建築の専門家を含む「改築等検討委員会」を発足し、７月 29 日に第１回検討会を開催するとともに、中心メンバーにより柳井市等との協議を進めた。 |

（２）収益の確保

施設整備等積立金の積立

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 稼働率の向上と加算の取得等による収益の確保 |
| 取組の実績 | １５８,000 千円の積み立てを行った。（計画：130,000 千円以上） |

（３）利用者の確保

各施設拠点における空床期間の短縮の取組及び稼働率の継続的な確保

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 関係機関との連携、在宅事業の受入れ、内部体制の強化 |
| 取組の実績 | 昨年度稼働率の低かった介護施設のうち ２ 施設は大幅な上昇となり目標数値をほぼ達成することができた。 |

（４）施設機能の維持

改修及び設備の更新

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 施設設備の更新計画の作成、更新 |
| 取組の実績 | 以下のとおり改修等を行った。<br>・エアコンの改修（伊保庄園・はぎ園＜本体・DS＞・たちばな園・みほり学園）<br>・電気温水器の改修（はぎ園＜GH＞）<br>・食洗器用ガスブースターの改修（たちばな園）<br>・床走行式リフトの設置（華南園）<br>・利用者送迎用車輌の更新（はなのうら＜DS＞）<br>・防犯カメラの改修（このみ園・児童センター）<br>・Wi-Fi 設備の設置（社会福祉会館）<br>・ポータブル発電機の更新（伊保庄園）<br>・業務用冷蔵庫の更新（華南園・みほり学園）<br>・火災通報設備の改修（はなのうら・華の浦）<br>・遊具の更新（クルクルテラス＜児童センター＞※寄贈） |

| | |
|---|---|
| 具体的取組 | 国、県の補助制度及び民間補助金の活用 |
| 取組の実績 | 活用可能な制度については適宜、活用を図った。（光熱費・食費高騰対策補助金、車両購入補助金） |

◆　各施設拠点における事業ごとの稼働率等

| 施設拠点名 | 事業区分 | 実績（目標） | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 灘海園 | 介護老人福祉施設 | 89.0%（90%） | 稼働率 |
| | 短期入所生活介護 | 88.9%（85%） | |
| | 通所介護（地域密着） | 75.1%（85%） | |
| | 居宅介護支援 | 67.6 人（95 人） | 月平均利用者数 |
| 伊保庄園 | 介護老人福祉施設 | 82.7%（90%） | 稼働率 |
| | 短期入所生活介護 | 20.2%（40%） | |
| オアシス<br>はぎ園 | 介護老人福祉施設 | 89.7%（90%） | 稼働率 |
| | 短期入所生活介護 | 64.4%（65%） | |
| | 通所介護 | 63.8%（61%） | |
| | グループホーム | 97.3%（98%） | |
| | 居宅介護支援 | 97.7 人（113 人） | 月平均利用者数 |
| たちばな園 | 施設入所支援 | 85.6%（90%） | 稼働率 |
| | 生活介護 | 80.3%（90%） | |
| | 短期入所（空床型） | 62.0 人（13 人） | 月平均利用者数 |
| | 相談支援 | 43.3 件（35 件） | 月平均計画作成・モニタリング数 |
| 華南園 | 施設入所支援 | 83.5%（95%） | 稼働率 |
| | 生活介護 | 74.6%（95%） | |
| | 短期入所 | 13.8%（30%） | |
| 華の浦<br>（はなのうら） | 施設入所支援 | 97.7%（95%） | 稼働率 |
| | 生活介護 | 98.8%（95%） | |
| | 短期入所 | 64.8%（30%） | |
| | 相談支援 | 41.2 件（36 件） | 月平均計画作成・モニタリング数 |
| | 障害児施設入所 | 70.4%（80%） | 稼働率 |
| | 放課後等デイサービス | 102.7%（92%） | |
| このみ園 | 障害児施設入所 | 99.7%（95%） | 稼働率 |
| | 短期入所 | 15.0%（12%） | |
| | 放課後等デイサービス | 93.7%（100%） | |
| 山口県<br>児童センター | プラネタリウム | 18,307 人（20,000 人） | 年間利用者数 |